

## 「東日本大震災における建築物の津波被害」に関する報告会

海洋建築委員会では本年5月～7月の間に4度の津波被害調査団を組織し、北は岩手県久慈市から南は宮城県山元町まで津波被災地の調査を行った。本報告会では、調査対象とした全域の被害調査の概要を報告するとともに、調査の結果得られた知見と今後の方針を「津波のメカニズム」「避難・救助・救援」「復旧・復興」「環境・福祉」という個別テーマのもとに整理して提示する。津波対策はすでに土木工学の分野でさまざまな取り組みが見られるが、建築分野においては津波避難ビルを除くと、これまで十分な検討が行われてきたとは言い難い。今後、建築分野における津波に対するハード・ソフト両面での対策を考えるうえでの基盤作りを目指して開催する。

**主催** 海洋建築本委員会

**日時** 2011年12月6日(火) 13:00～17:10

**会場** 建築会館会議室(東京都港区芝5-26-20)

### プログラム

司会：藤田謙一(千代田アドバンスト・ソリューションズ)、居駒知樹(日本大学)

記録：恵藤浩朗(日本大学)

**主旨説明**：津波に対する防災戦略／濱本卓司(東京都市大学) 13:00～13:20

### 主題解説

#### ①被害調査報告

1) 仙台平野の被害：東松島市～山元町／中西三和(日本大学) 13:20～13:50

2) 三陸海岸の被害(I)久慈市～釜石市／遠藤龍司(職業能力開発総合大学校) 13:50～14:20

3) 三陸海岸の被害(II)唐丹町～石巻市／松井徹哉(名城大学) 14:20～14:50

②津波のメカニズム／増田光一(日本大学) 15:00～15:30

③避難・救助・救援／矢代晴実(東京海上日動リスクコンサルティング) 15:30～16:00

④復旧・復興／畔柳昭雄(日本大学) 16:00～16:30

⑤環境・福祉／川西利昌(日本大学) 16:30～17:00

まとめ／濱本卓司(前掲) 17:00～17:10

**定員** 70名(申込先着順)

**参加費**(資料代含む) 会員2,000円、会員外3,000円、学生1,000円

**申込方法**：E-mail またはFax にて、催物名称、氏名、勤務先・所属、同電話番号、E-mail アドレスを明記のうえ、申し込んでください。定員に達した場合は、お断りの方にのみご連絡します。

**申込先**：(社)日本建築学会 事務局 研究事業グループ 榎本

E-mail: enomoto@aij.or.jp Fax:03-3456-2058